



# 天文台だより

銀河の森天文台  
2019 春号  
Vol. 83

## 1/6、3年ぶりの部分日食を観測！



部分日食(食最大0.55) 2019年1月6日 10時18分撮影

2019年1月6日(日)午前、約3年ぶりに部分日食が日本全国で観測されました。陸別は快晴で、日食の初めから終わりまですべて観測できました。また、ウェザーニューズ社による部分日食の中継地に陸別が選ばれ銀河の森天文台からインターネット配信されました。

日食とは、太陽-月-地球がほぼ一直線に並び、月によって太陽が隠される現象です。今回の日食は太陽の一部が隠される部分日食で、北に行くほど欠け具合が大きく、陸別では視直径の半分ぐらい欠けました。陸別での日食の始まりは8:49で、食の最大(食分0.55)が10:18、食の終わりが11:53でした。日食中は太陽望遠鏡での動画撮影や中型望遠鏡でのインターバル撮影を行いました。

次回北海道で日食が見られるのは、2019年12月26日(木)午後になります。

### 「館長コラム」 上出洋介(牡牛座)

桜の便りが届いています。尋常でなかったこの冬の寒さは、全国各地で、「観測所開設以来の」新記録を生み出したようです。地球規模では、北極渦が大幅に南下し、陸別町では、2月9日マイナス31.8度を記録し、「日本一寒い町」のニックネームを現実化しました。



(上出洋介館長)

近年の異常気象は、これまでの異常とは別格の異常です。単に汎世界的な気温や雨量の分布が特殊なのではなく、その嵐の発達急峻性と局所性が目立ちます。友人である中村尚氏(ワシントン大学卒:現在東大教授)は、最新の自著「日本の四季がなくなる」(小学館)で、冬の突発的ドカ雪、集中豪雨、巨大台風、もっと暑くなる来年の夏、しかもこれらの異常気象はお互いに連鎖する傾向にあるとまとめています。気象に限らず、このような特殊な自然現象を方程式で表現すれば、非線形問題を解くこととなります。非線形現象とは、原因が結果になり、その結果がまた原因になるというアナロジーによってでも表現されることもあります。

### オーロラウィーク2019大成功!

2019年1月30日(水)~2月10日(日)の期間、天文台開館20周年記念イベントとして、「オーロラウィーク2019~カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継~」を開催しました。

今年の中継画像は昨年同様高解像度版があり、明るいオーロラが出現した時には、ダイナミックに変化するオーロラの様子を楽しむことができました。

期間中夕方には、上出館長に電話でオーロラの疑問を直接聞くことができる企画「もしもしオーロラ電話質問コーナー」を開催しました。参加者の皆様は150インチスクリーンでオーロラ中継を見ながら館長の解説を聞いて大変喜んでいました。また、今年は去年の初級・中級を統合した「オーロラ検定」を実施し、60名という多くの受験者があり、全問正解者は56名でした。

この生中継は、AuroraMAXプロジェクト(カナダ宇宙庁、カルガリー大学、アストロノミーノース、イエローナイフ市)の協力の下、館内の4mエアドームと150インチスクリーンで行いました。期間中、387名の入館者の方にオーロラ生中継を楽しんでもらいました。



## 暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月 1日	5:05	17:54	25.5	3:28	13:41
4月 15日	4:40	18:11	9.8	12:48	2:36
5月 1日	4:15	18:30	25.8	2:54	14:30
5月 15日	3:58	18:46	10.2	14:16	2:20
6月 1日	3:43	19:03	27.2	2:37	16:27
6月 15日	3:39	19:11	11.7	16:46	2:21

# 天文行事&暦

## 4月

- 5 清明(24節気:太陽黄経15°)  
●新月
- 12 水星が西方最大離角  
(光度:0.4等, 離角:27.7°)
- 19 ○満月
- 20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
- 27-5/6 夜空のわくわく動物星座観望会
- 29, 30 特別開館

## 5月

- 4/27-5/6 夜空のわくわく動物星座観望会
- 5 ●新月
- 6 立夏(24節気:太陽黄経45°)  
特別開館
- 13-24 天文台メンテナンス休館
- 19 ○満月
- 21 小満(24節気:太陽黄経60°)

## 6月

- 3 ●新月
- 6 芒種(24節気:太陽黄経75°)
- 11 木星が衝  
(光度-2.6等, 視直径46.0")
- 12-23 木星観望会
- 17 ○満月
- 22 夏至(24節気:太陽黄経90°)
- 24 水星が東方最大離角  
(光度:0.6等, 離角:25.2°)

## 春のイベント情報!!

### ☆夜空のわくわく動物星座観望会

しし座など夜空の動物星座を巡る観望会を開催します。春の夜空に浮かぶ動物たちをお楽しみ下さい。

開催日時: 4月27日(土)~5月6日(月)

説明会: 午後7時30分から

### ☆木星観望会

この時期、木星がへびつかい座の中で見頃を迎えます。観望会では、木星や季節の天体を観望します。

開催日時: 6月12日(水)~23日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

### 拝啓、天文台より - 「たくさんの感謝」 -

嘘みtainな風において、春はいちばん苦手な季節でした。陸別に来てから、厳冬期を終えたあとの、ほんとうの春のあたたかさを知ったように思います。

みなさんは、星空を見上げていると、人間はちっぽけだなあと感じたことはありませんか? 私は、あまりありません。たしかに、大ききだけを見ると、宇宙の規模に対して人ははるかに小さいでしょう。ただ、その一人一人には、光が射す瞬間があり、心を動かす瞬間がかならずあります。そのとき人という存在が奏でる一瞬の輝きは、どうにも「ちっぽけ」という言葉にそぐわない、強烈な眩しさ、圧倒的な鮮やかさがあるように感じています。

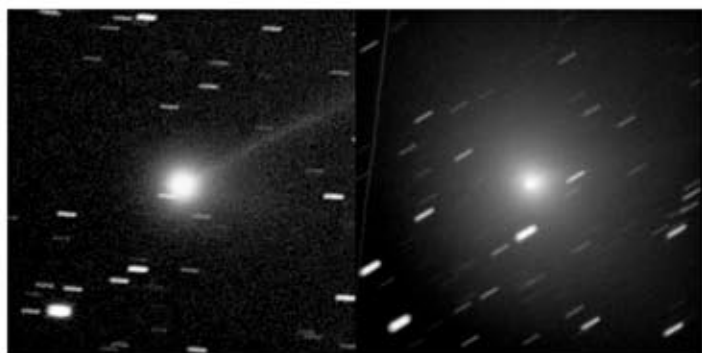
さてこの度、私は4月30日に退職することとなりました。私にとって、お客さまの感情が動くその瞬間、にご一緒させていただけることは、何よりも幸せなことでした。

笑顔を見せて下さったお客さま、支えてくれたスタッフ&天文部のみなさん、挑戦し成長する機会を与えて下さった全ての方々に、心より感謝申し上げます。また、ふとお会いできたときには、一緒に空を見上げましょう! 本当に有難うございました。

守屋来☆

### ペッコカめぐり「新天体搜索者の言葉」

昨年、徳島県の岩本雅之さんが2つの彗星を発見しました。それも2か月連続の発見です! また、山形県の板垣公一さんが5分間に2個の超新星を発見するという快挙もありました。1個発見するだけでも凄いことなのに、2人とも何か超能力のような力を持っているのでは? と思ってしまいます。しかし実際に新天体搜索を行っている方々の答えは「それだけ多くの搜索を行っているから」運や超能力といったもので片付けてしまわない、新天体搜索を続けてきた(発見した)方々の言葉はとて重く、私の胸にしっかりと刻まれました。(中)



左: マックホルツ・藤川・岩本彗星(C/2018 Y1)  
右: 岩本彗星(C/2018 V1)

### 天文台からのお知らせ

- ☆ 4月より開館時間が、14:00~22:30となります。(昼間14:00~18:00、夜間18:00~22:30)
- ☆ 4月29日(月)、30日(火)、5月6日(月)は、特別開館します。
- ☆ 5月13日(月)~24日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: [ginga@rikubetsu.jp](mailto:ginga@rikubetsu.jp)